



峡東教育事務所
地域教育支援スタッフ
TEL 0553-20-2737
FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email : saegusa-aszn@pref.yamanashi.lg.jp

「世の中で一番尊い事」

近年、知名度やお金の量で人や物事の価値を計る傾向が強まっているように感じられます。このような風潮の中で、「本当に価値のある事」「尊い事」とはどのようなことなのか、私の身の回りにあったことを元に考えました。

- ・母は、毎朝、家族の誰よりも早く起きて朝食の支度をし、弁当を作ってくれました。
- ・父は、炎天下で、寒風吹きすさぶ中でも畑仕事に精を出し家族を養ってくれました。
- ・祖母は、自分がもらったお菓子を、真っ先に孫に食べさせてくれました。
- ・中学時代、言いようのない不満や悩みを、1時間以上も辛抱強く聞いてくれた先生がいました。
- ・劣等意識にさいなまれていた高校1年生の時、地理の先生の生徒一人一人を尊重して公平に扱う姿勢に救われる思いがしたものです。
- ・道路を横断する黄色い帽子をかぶった下級生を守るかのように、黄色の横断旗で車を停めていた集団登校の6年生。使命感に満ちた表情が頼もしく見えました。
- ・先生に叱られてしょんぼりしている友達にずっと寄りそっていたNさん。友とはどういうものかを見せてくれました。
- ・負傷して練習できない時や、引退してもなお仲間や後輩のために、自らすすんで用具の出し入れや練習の補助をしてくれた部員がいました。その姿勢が受け継がれ、部の伝統となりました。
- ・息子の不登校に悩んでいた母親は、担任や学年主任、教育相談担当教諭、養護教諭、カウンセラーと、繰り返し相談のために来校しました。友人の支えもあったようです。いつ頃からか再び登校する姿が見られるようになりました。
- ・家を飛び出し保護された女子生徒の話を、目に涙をいっぱい浮かべて聞いていた女性教師の姿がありました。
- ・息子が万引きをして指導を受けた父親。以後、息子が所属するサッカー部の試合のほとんどをグラウンドの片隅から見守る姿がありました。
- ・わが子の過ちに、身を小さくして詫げる両親の前に、返答する言葉が見つかりませんでした。
- ・登下校の途上、近所の人が「たいへんだねえ」「がんばれよ」「乗って行くか」と声をかけてくれました。
- ・近所のおばさんは、私が子どもの時から、朝、行きがけに出会うと「行ってらっしゃい」、夕刻には「お帰りなさい」と声をかけてくれます。
- ・雪が降った翌朝、消防団の若者は暗いうちから除雪作業を始め、子どもたちが通学する時間にはすっかり道路は整備されていました。
- ・子どもの安らかな寝息に、一日の緊張がほぐされていくのを感じました。
- ・さり気ない気遣い、必要な助言や補助をしてくれる同僚がいます。

「世の中で一番尊い事」について、心に思い浮かぶままに綴ってみました。書き連ねてみると、「尊い事」は知名度やお金とは無関係であること、また、いくつもあって、それらに順位をつけるものではないと思いました。

本紙をお読みになっている皆さんはどんなことが思い浮かぶでしょうか。



峡東教育事務所では、山梨県教育委員会社会教育課の事業を受けて、『山梨ことぶき勸学院』の「東山梨学園」と「東八代学園」の運営を行っています。

皆さんの身近に、健康で学ぶ意欲のある方がいらっしゃいましたら、勧めていただきたいと思います。

平成22年度

山梨ことぶき勸学院

学生募集中です

◇◇◇高齢者のための生涯学習大学校◇◇◇

＜共に学び、明日への生きがいを育てましょう＞

山梨ことぶき勸学院（修業年限は2年）は、人生80年時代に、高齢者の学習ニーズに応え、長年培ってきた知識や技能をさらに磨き、充実した生きがいを創造し、地域文化の振興に参画する活力ある指導者としての資質を身につける場です。



〈授業風景〉

学園名	活動日	学習の場	定員
東山梨学園	主に金曜日に活動	山梨市民会館（山梨市万力 1830）	40人
東八代学園	主に木曜日に活動	八代総合会館（笛吹市八代町南 527）	40人

◇◇◇山梨ことぶき勸学院 Q&A◇◇◇

問1. 入学資格は、どのようになっていますか？

◎おおむね60歳以上の、健康で学ぶ意欲のある方。通学可能ならどなたでも入学できます。
募集人員は各学園40人で、只今募集中です。定員に達し次第締め切ります。

問2. どこへ申し込めばいいですか？

◎関心のある方は、まずは峡東教育事務所（東山梨合同庁舎2階）の、雨宮または稲木まで電話をしてください。内容や申込方法等を説明いたします。

電話 0553-20-2737

問3. 学費はかかるのですか？

◎基本学習費（年間5,000円）を徴収します。その他、クラブ活動・研修旅行の経費や傷害保険料・勸学院バッチ代等は自己負担になります。



〈研修旅行 会津「大内宿」にて〉

問4. どんな内容について学習しますか？

◎第1学年では、「高齢社会を生きる」「ふるさと山梨に学ぶ」「日本の心を見つめる」「時代の潮流をとらえる」「地域を創る」の領域で、身近な問題から現代的な課題、歴史、文学、芸術、科学など多様な内容の、年間19回の講座（月2～3回）があります。また、入学式、勸学院祭、卒業式、講演会や芸術鑑賞会、小中高校生などとの交流、研修旅行、公開講座の受講等があります。

問5. 講義日の1日の内容はどのようになっていますか？

◎9時頃から朝の会、9時30分から約3時間の講義があります。昼食を終えて午後から各自が選んだクラブ活動、または、行事に向けた練習などに参加し、3時頃には解散になります。

問6. いろいろ忙しいけれど、私にも続けられるでしょうか？

◎「健康面に不安がある」「親の介護をしている」「自治会の仕事が忙しい」など、いろいろな事情ある方もいらっしゃいますが、時間を上手に使って意欲的に学園生活を続けています。

峡東地域に「総合制高校」がスタートします



山梨県立笛吹高等学校

(平成22年4月開校)

本校は、平成22年4月に開校する新設高等学校です。普通科、食品化学科、果樹園芸科、総合学科（環境・緑地系列、情報・観光系列、国際文化系列、人間科学系列）の4学科よりなる総合制高等学校です。

それぞれの特徴を生かしたカリキュラムの中で、生徒の興味・関心に応じ、将来の進路実現に向けた多様な教育を実践します。将来の自分にあった進路を約束できる多様なカリキュラムを備えています。

◇新校舎は、現在の石和高校の敷地に平成23年3月完成予定 山梨園芸高校圃地は実習等で使用

<教育方針>

自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジし、広い視野をもち、地域社会の形成に進んで参画できる心豊かでバランスのとれた生徒の育成を目指します。

- (1) 個を生かし、未来を拓く、自立した生徒の育成を目指します。
- (2) 個を高め、互いに切磋琢磨できる環境づくりを目指します。
- (3) 学校・家庭・地域が一体となった学校運営を目指します。

<4つの学科>

- 普通科** (定員120名) 学力の向上と大学進学を目指し、社会で活躍する人材の育成
- 食品化学科** (定員40名) 食品の加工、栄養分析、流通などに関する知識・技能を習得し、食品産業を担う人材の育成
- 果樹園芸科** (定員40名) 果樹栽培や園芸に関する知識・技能を習得し、峡東地域の基礎産業を担う人材の育成
- 総合学科** (定員100名) 自己を確認しながら、さらなる向上を目指し、将来のビジョンの確立

《観光・緑地系列》 住みやすい生活環境を創造する産業人の育成

《情報・観光系列》 地域の産業を担う人材の育成

《国際文化系列》 国際感覚と、生きた英語力を身に付け、社会で幅広く活躍できる人材の育成

《人間科学系列》 [生活福祉コース・スポーツ科学コース]

将来の進路希望にあわせて幅広く学び、知識・技能を確実に習得し各方面で活躍できる人材の育成

<校名の由来>

古歌に「山おろし雪の白波ふきたてて子西流るる笛吹の川」と歌われるなど、日本三大急流の一つに数えられる富士川水系の笛吹川。その力強さと美しい響きにより、平成16年に市制施行された笛吹市の市名にもなっており、地域に親しまれている。この美しく、豊かで力強い川の流れのように、そこに集い学ぶ若人が強い信念と高い志を持ち、自らの目標に向かって、とどまることなく力強く前進して欲しいとの願いを込めている。

<校章の解説>

笛吹高校が設置される笛吹市は、『日本一の桃の産地』であることから、実り豊かな大地に花開く桃の花をモチーフにデザインしている。春、桃の木にたくさんの花が咲く様子をイメージしており、笛吹の地に若者が大勢集い、大きな実を付けて欲しいとの願いを表現している。

地域教育推進事業をふり返って

- ① 峡東地域教育推進連絡協議会の運営
- ② 地域の子育て支援の推進、子育て講演会、子育てセミナーの開催
- ③ 家庭教育推進
- ④ 保幼、小中、高校、特支、大学の連携推進
- ⑤ 成人教育の推進（山梨ことぶき勸学院等）
- ⑥ 青少年教育の推進（やまなし少年海洋道中等）
- ⑦ 生涯スポーツの振興、学校体育への支援
- ⑧ 地域教育情報誌「エリアウェーブ」の発行
- ※ 国・県の委託として（学校支援地域本部事業）

これらの業務のうち主なものをあげながら、1年間をふり返ってみたいと思います。

◆ 峡東地域教育推進連絡協議会の開催

この協議会は、山梨市、笛吹市、甲州市の教育機関や行政機関、地域住民等の連携や構成団体相互の支援強化を図り、「望ましい教育環境・社会環境づくり」を推進することを目的としています。年1回の総会と2回の実務者会を開くとともに、子育て講演会や保・幼・小・中連携セミナー、あいさつ運動、生活習慣育成の取り組み等行っています。

◆ 子育て講演会、連携セミナーの開催

① 第1回子育て講演会

7月2日（木）山梨市民会館

『わいわい子育て親育ち』～やまなし「親」学習プログラムのすすめ～

講師；秋山 教子先生（前竜王東保育園長）
極楽寺眞理子先生（芦川小学校校長）

・参加者114名

② 保・幼・小・中連携セミナー

8月21日（金）甲州市民文化会館

「就学から就労へ」～なぜ連携が必要なのか～

講師；中嶋 彩先生（日本臨床心理研究所）

・小グループによる連携実践の話し合い

・参加者101名

③ 第2回子育て講演会

11月19日（木）いちのみや桃の里ふれあい文化会館

「子どもの問題行動は、改善の最大のチャンス」

講師；石原俊道先生

（山梨県立あさひワークホーム所長）

・参加者120名

◆ 地域の子育て支援の推進

6月、「峡東地区子育てサポートブック」を作成し、管内の学校や幼稚園・保育所（園）、児童センター、子育てサークル、地域子育て支援センター、関係機関に配布しました。

◆ 地域住民による学校支援体制・放課後等の子どもの体験・交流活動の場づくりの推進

平成21年度山梨県の教育施策「地域教育力向上委員会」の中で、「やまなし学校応援団育成事業」と「放課後子どもプラン推進事業」が、活動を展開しています。「やまなし学校応援団育成事業」は、甲州市と山梨市に学校支援地域本部が設置され、学校の要請に応じて学習活動支援・環境美化・登下校の安全指導・部活動支援などボランティアの方々が活動しています。

「放課後子どもプラン推進事業」は、笛吹市の富士見小と石和西小の放課後に、NPO学びの広場「ふえふき」が、ボランティアとして学習活動支援や様々な体験教室等の活動をしています。

◆ 生涯スポーツの振興・学校体育への支援

平成21年度末までに管内3市にそれぞれ総合型地域スポーツクラブが設立されました。笛吹市「わいわいスポーツクラブ」山梨市「アストリースポーツクラブ」甲州市「甲州スポーツ倶楽部」

体力・運動能力調査への指導支援として、管内3市の成人を対象とした体力・運動能力調査の実施に伴う指導支援と結果の集計報告を行いました。

また、学校体育への支援として、管内の小中学校陸上記録会、スキー教室への指導支援や、感染症に関する連絡事務（新型インフルエンザ集団発生等の報告）応急処置訓練用ダミー人形貸出業務（小中高などのべ33団体）等を行いました。

◆ 地域教育情報誌「エリアウェーブ」の発行

昨年までは毎月発行してきましたが、本年度は諸般の事情により年間10回発行し、管内の保幼小・中・高・特、教育関係機関、県庁関係課等へ配布しました。

昨年度以来、「地域教育推進スタッフ」が相互に関わりを持ちながら業務を展開したこともあって、地域活動連携事業、子育て全般、社会教育、生涯スポーツ、ことぶき勸学院など、多方面に渡る記事を取り上げました。

一年間、ご愛読いただきありがとうございます。